SONY

IC レコーダー

クイックスタートガイド

ICD-UX523/UX523F

4-294-967-**02**(1)

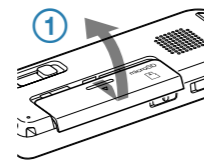
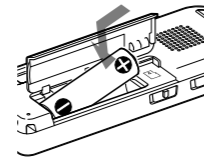
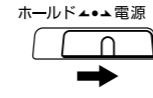
はじめに

本書はICレコーダーをはじめてお使いになるときに必要な準備、基本的な録音、再生、消去の操作方法や、上手な録音方法などを説明しています。その他機能の説明や、詳しい操作方法は、別冊の取扱説明書をご覧ください。

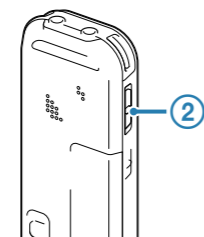
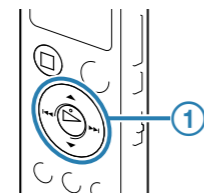
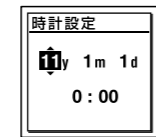
箱の中身を確認する

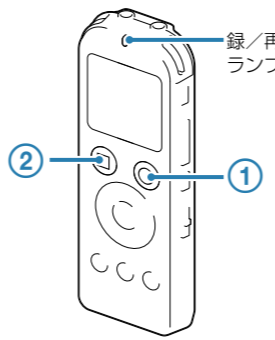
- 本体（1）
- ステレオヘッドホン（1）
- USB接続補助ケーブル（1）
  お使いのパソコンに本機を直接接続できない場合は、付属のUSB接続補助ケーブルをお使いください。
- オーディオコード（1）(ICD-UX523Fのみ)
- ソニー単4形充電式ニッケル水素電池（1）
- パソコン用アプリケーションソフト Sound Organizer（CD-ROM）（1）
- キャリングポーチ（1）
- 取扱説明書（1）
- クイックスタートガイド　本書（1）
- 保証書（1）

使ってみよう

1. 電源を入れる

① 電池ぶたを開け、＋／－に注意して充電池を入れ、ふたを閉める。

② 画面が表示されるまで、ホールド・電源スイッチを「電源」の方向へスライドする。
電源が入ります。

電源を切るには、「電源オフ」のアニメーションが表示されるまで、ホールド・電源スイッチを「電源」の方向へスライドします。

2. 時計を合わせる

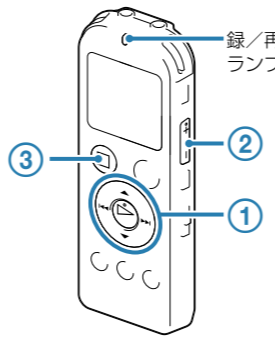
時計設定
11y 1m 1d
0 : 00

お買い上げのあと、初めて電池を入れたときや、電池を抜いたまま1分以上お使いにならなかったあとに電池を入れたときは、「時計を設定してください」のアニメーションが表示され、年表示が点滅します。

① ▲または▼を押して年の数字を選び、► ／決定ボタンを押す。同じ操作を繰り返し、月、日、時、分の順に設定する。
分を選び、► ／決定ボタンを押すと、時計が設定されます。

3. 録音する

録音を始める前に、ホールド・電源スイッチを中央位置にスライドし、ホールドを解除してください。

① ●録音／一時停止ボタンを押す。
録音が始まり、録／再ランプが赤く点灯します。

② 録音を止めるには、■停止ボタンを押す。
録／再ランプがオレンジに点滅し、録音が停止します。

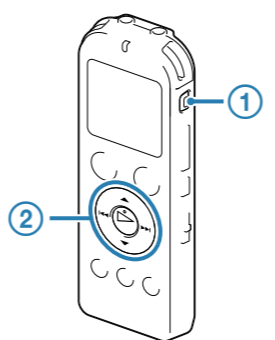
録音中に●録音／一時停止ボタンを押すと、録音が一時停止します。再度押すと、録音が再開します。

4. 再生する

① ► ／決定ボタンを押す。
再生が始まり、録／再ランプが緑に点灯します。

② 音量－／＋ボタンを押して、音量を調節する。

③ 再生を止めるには、■停止ボタンを押す。

5. 消去する

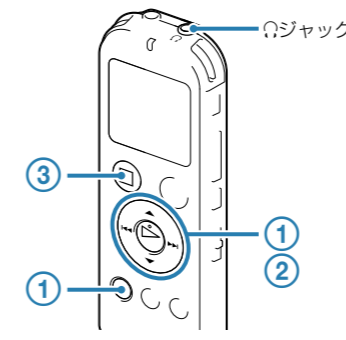
ご注意
一度消去したファイルはもとに戻すことはできません。ご注意ください。

① 消去ボタンを押す。
「消去しますか？」と表示され、確認のため、選んだファイルが再生されます。

② ▲または▼を押して、「実行」を選び ► ／決定ボタンを押す。
「消去中...」のアニメーションが表示され、ファイルが消去されます。

ICレコーダーの準備、基本的な録音、再生、消去の操作はこれで終了です。
あなたも今日からICレコーダーのユーザーの仲間入りです。さらに、ICレコーダーを使いこなすために、便利な機能の一部をご紹介します。

こんなこともできます

FMラジオを聞く（ICD-UX523Fのみ）

FMラジオ受信時は、付属のステレオヘッドホンがFMアンテナの役割をしますので、ジャックにつなぎ、できるだけ長くのばしてお使いください。
スピーカーで聞くときも、ステレオヘッドホンをジャックにつなぎ、できるだけ長くのばしてお使いください。

① メニュー、I◄◄ と▲または▼を押してFMタブを選ぶ。► ／決定ボタンを2回押す。
FMラジオモードに入ります。

② I◄◄ または►►Iを繰り返し押して選局する。

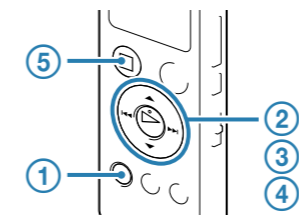
③ FMラジオを止めるには、■停止ボタンを押す。

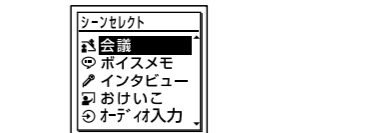
メニューを使う

メニューを使って、録音、再生、編集、表示、本体の様々な設定を行うことができます。ここでは、1例として、シーンセレクトの設定方法を説明します。
そのほかの設定項目については、付属の取扱説明書をご覧ください。

① メニューボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。メニュー画面では様々な機能を設定することができます。

シーンセレクト
シーンセレクト編集
録音モード
マイク感度
LCF(Low Cu
VOR

② I◄◄ を押した後、▲または▼を押して 🎤、►、✎、▣、🧰、FMタブのいずれかを選び、► ／決定ボタンを押す。

③ ▲または▼を押して、項目を選び、► ／決定ボタンを押す。

シーンセレクト
会議
ボイスメモ
インタビュー
おけいこ
オーディオ入力

④ ▲または▼を押して設定を選び、► ／決定ボタンを押す。

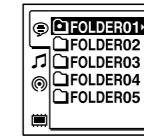
⑤ メニューモードを終了するには、■停止ボタンを押す。

1つ前の画面に戻るには

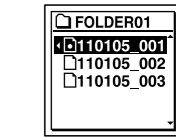
メニュー操作中にI◄◄ を押します。

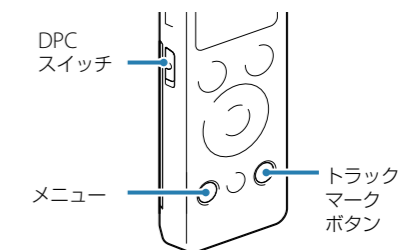
メモリー／タブ／フォルダ／ファイルを選ぶ

録音、再生、編集するファイル、フォルダ、タブ、メモリーを選択できます。

① タブ／メモリーを選ぶ。
1 フォルダ ボタンを押して、フォルダ選択画面を表示します。

2 I◄◄ を押した後、▲または▼を押して タブを選び、► ／決定ボタンを押します。
選択したタブ内のフォルダ選択画面が表示されます。
(Voice)：録音可能エリア。本機で録音したファイルを管理するエリアです
♫(Music)：再生専用エリア。パソコンから転送した音楽ファイルを管理するエリアです。
(Podcast)：再生専用エリア。パソコンから転送したポッドキャストを管理するエリアです。
(内蔵メモリー)または (メモリーカード)：本機の内蔵メモリーとメモリーカードを切り換えることができます。

② フォルダを選ぶ。
▲または▼を押してフォルダを選び、► ／決定ボタンを押します。►►Iを押すと、選択したフォルダ内のファイルが表示されます。

③ ファイルを選ぶ。
▲または▼を押してファイルを選び、► ／決定ボタンを押します。

その他の便利な機能

詳しい操作方法は取扱説明書をご覧ください。

シーンセレクト

さまざまな録音シーンに合わせて、録音モードやマイク感度などの録音に必要な項目を、一括でおすすめの設定に切り換えることができます。それぞれのシーンの設定は、お好みに合わせて編集することができます。
(メニューで設定します。)

トラックマーク

再生時の頭出しや、分割位置の目安として利用するために、トラックマークを付けることができます。1つのファイルに98個まで設定できます。

デジタルピッチコントロール(DPC)

再生速度を0.50倍速から2.00倍速の間で調節できます。その際、音程はデジタル処理により、自然に近いレベルで再生します。

ノイズとして録音される可能性のある音について

ノイズの原因となる音

ICレコーダーには、音声以外のさまざまな音が録音されてしまうことがあり、ノイズとして聞こえてしまいます。
- 本機に触れたときに入る音（タッチノイズ）
- 衣服と擦れる音（胸ポケットにいれている場合など）
- 振動音（机やピアノなどに置いた場合など）
- エアコン、プロジェクター、パソコンなどの動作音
- 周囲の余計な音（講演会や授業の場合など）
- 口元で録音したときにマイクにあたる吐息（吹かれ音）
- 長時間録音モード（MP3 8kbpsなど）で生じるノイズ

録音されるノイズを軽減するには

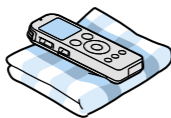
- 録音中に本体に触れると、タッチノイズとして録音されてしまう場合があります。録音が終わるまでは、なるべく本体に触れないようにしてください。
- ノイズの原因となっている音から遠ざけるか、取りのぞいてください。
- 状況に応じた「録音モード」を選んでください。ノイズが気になる場合は、録音モードを高音質モードに設定することをおすすめします。
- 状況に応じた「マイク感度」を選んでください。周囲の音がノイズとなって聞きづらい場合は、マイク感度の設定を下げてみてください。
- メニューの「LCF(LOW Cut)」（ローカットフィルター機能）を「オン」にすると、エアコンの風の音やプロジェクター、パソコンなどのファンの音が軽減されて聞きやすくなります。

ためし録りのススメ

部屋の大きさ、話をする人の声の大きさ、パソコンを近くで使用しているのかどうか…。
録音環境は人によってさまざまです。
望まれる「音質」も録音対象によって変わってきます。
ためし録りは、大切な録音を失敗しないため、また、理想の音質に録音環境を整えるために大変有効なものです。

状況に応じた録音方法

会議録音

付属のキャリングポーチやハンカチなどの上に本機をのせることで、机から伝わる振動音などのノイズを低減できます。

発表者に近い場所で録音してください。

シーンセレクトを使うときは、「会議」を選びます。

授業・講演会録音

マイクを音源の方向に向けて録音します。別売の指向性マイクを使用することで、録りたい音声を狙って録音することができます。
シーンセレクトを使うときは、「会議」や「おけいこ」を選びます。

メモ録・口述録音

録音するときは、マイク部に息がかからないように口のやや横に本体を近づけましょう。
シーンセレクトを使うときは、「ボイスメモ」を選びます。

ご注意
本機を手に持って録音するときは、本機に触れたときのノイズ（タッチノイズ）が録音されないようご注意ください。

インタビュー録音

マイクの向きをインタビュー相手に合わせて録音します。
シーンセレクトを使うときは、「インタビュー」を選びます。

電話録音

電話録音用マイクECM-TL3（別売）を使って自分と相手の声を録音できます。
シーンセレクトを使うときは、「インタビュー」を選びます。

歌やカラオケの録音

ステレオ録音モードで臨場感のある録音ができます。
付属の専用ソフト（Sound Organizer）を使えばパソコンでCDにも記録できます。
シーンセレクトを使うときは、「おけいこ」を選びます。

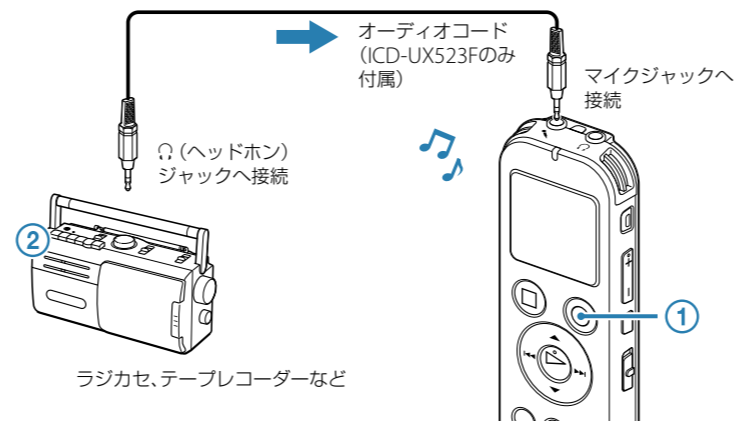
音楽録音

ICレコーダーをピアノの上にのせて録音すると、ピアノを弾くときの振動も一緒に録音されてしまいます。ICレコーダーを楽器の近くに置いて録音してください。
シーンセレクトを使うときは、「おけいこ」を選びます。
楽器の近くに置いたとき、大きな音でひずむ場合は、「マイク感度」を「低」にしてください。ひずみの少ない録音ができます。

ラジカセ、テープレコーダーなどからICレコーダーへ録音する

ICレコーダー本体のメニューの「シーンセレクト」で「オーディオ入力」を選んで事前に設定してください。コード接続時に、画面上で「Audio IN」を選択してから録音を開始してください。

① ● 録音／一時停止ボタンを押す。

② ラジカセ、テープレコーダーなどの再生ボタンを押す。

- ICレコーダー内に挿入したメモリーカードに直接録音する場合は、あらかじめ設定を変更してください。
- 入力レベルが適正でない場合は、他機器のヘッドホン端子（ステレオミニジャック）を使って本機と接続し、本機の録音レベルガイドを確認しながら、他機器の音量を調節してください。

適正なレベルで録音するには

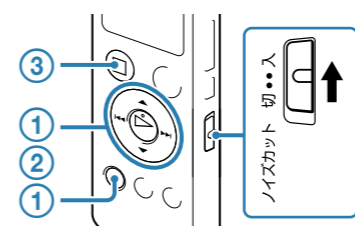
録音中は、録音レベルガイドが表示されます。

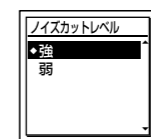
上段に録音中の入力レベルが表示されます。下段の白いバーは、入力レベルの適正範囲を表示します。

上の図のように、録音中の入力レベルが、下段の白い部分に収まるように、マイクの方向や音源からの距離を調節したり、マイク感度、シーンセレクトの設定を変更してください。

- 入力レベルの白く表示される部分が少ない場合は、音源の近くに移動したり、マイク感度を高く設定することをおすすめします。

録音した音声を聞きやすくするには

再生時にノイズカットスイッチを「入」にすると、プロジェクターや空調などの周辺ノイズをカットします。全帯域のノイズを低減するため、人の声をクリアな音質で再生することができます。

ノイズカットレベルを設定するには

① 停止／再生時に、メニュー → ►タブ →「ノイズカットレベル」を選び、►／決定ボタンを押して決定する。

② ▲または▼を押して、「強」または「弱」を選び、►／決定ボタンを押す。

③ ■停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

ご注意
音楽を再生するときは、ノイズカットスイッチを「切」にしてください。

付属アプリケーションソフト「Sound Organizer」を使って、音楽CDを作る

- 「Sound Organizer」をあらかじめパソコンにインストールしてください。インストール方法については、付属の取扱説明書をご覧ください。
- 未使用のCD-R/CD-RWを、パソコンのCDドライブに挿入してください。
- あらかじめICレコーダーで録音したファイルを「Sound Organizer」に取り込んでから、音楽CDの作成を始めてください。

①サイドバー
よく使う操作をボタンで表示しています。
［ディスクを作成する］のボタンはここにあります。

②パソコン側のフォルダ・ファイルを表示します。

⑤［作成開始］ボタンはここに表示されます。

④CDを作成したい音楽ファイルがここに表示されます。

① サイドバーにある［ディスクを作成する］をクリックし、画面右側にある［音楽 CD を作成する］をクリックする。

② サイドバーの［マイライブラリー］をクリックし、CDに書き込みたい楽曲が含まれるファイルを選択する。

③ 画面中央の［➡］をクリックする。

④ CDへ書き込みたい楽曲の確認をする。

⑤ ［作成開始］をクリックする。
音楽CDの作成が始まります。